

株式会社有明ねっこむ

第 11 回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 3 月 26 日（月） 午後 2 時～
2. 開催場所 株式会社有明ねっこむ 会議室
3. 委員の出席
委員総数 : 6 名
出席委員数 : 5 名
出席委員 : 石丸 智士委員長、香山 真理子副委員長
高木 洋一委員、城戸 久信委員、古賀 武委員
放送事業者側出席者 :
代表取締役専務 納富 和由紀
FMたんと局長 永江 美穂
FMたんと 椋島 みらい
4. 議 題 : (1) 報告事項
・平成 29 年度の放送番組と運営に関する報告について
(2) 任期満了に伴う放送番組審議会委員の改選について
(3) その他意見交換
5. 議題内容 :
(1) 報告事項
平成 29 年度の放送番組と運営に関して、1 年間の報告を行い、日々の放送業務において改善すべき課題が見受けられる為、技術の向上、品質の向上を目的としたスタッフの研修、運用体制、番組編成の見直しを実施している事について説明を行いました。
また、放送エリア内難聴地域解消対策について、現在の動きを報告しました。

(委員) 大牟田市の中心地やみやま市の山間部は放送が聞こえず、各企業もスポンサーさんになっていただけないのではないかと思います。
(事業者) 総務省九州総合通信局に難聴地域解消の相談を継続中です。

(委員) 公開生放送などのスタジオ外での放送はありますか？
(事業者) PR の為にも積極的に実施していきたいと思っております。

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

(2) 任期満了に伴う放送番組審議会委員の改選について

株式会社有明ねっこむ放送番組審議会規程、第3条2項の規定にもとづき、現各委員へ再任を申し出たところ、全員の了承を得て、再任となりました。また、第3条3項の規定にもとづき、委員長ならびに副委員長の選任についても、委員会において異議なく再任となりました。

番組審議委員は以下の通りです。

委員長 石丸 智士氏
副委員長 香山 眞理子 氏
委員 高木 洋一 氏
委員 城戸 久信 氏
委員 大石 教義 氏
委員 古賀 武 氏

(2) その他意見交換

(委員) パーソナリティの皆さんは、開局時に比べて上手になったと思いますが、地域の生の声をどこまで吸い上げるのか難しい問題だと思います。

(事業者) 平成 30 年度はパーソナリティの教育として月一回の講習会の実施を予定しています。

(委員) 放送機材も充実してショッピングモールからの放送など、いろんなことが出来るようになったので3年目も更に頑張ってもらいたいです。

(委員) 土曜日の3時間の新番組は収録だが、スタッフの負担になりませんか？

(事業者) 新番組については、プロの放送作家に入ってもらって制作するので、スタッフもパーソナリティもとても勉強になると期待しています。

(委員) 地域の方々がパーソナリティとなってお届けしている番組で、話されている方の教育は難しい問題だと思います。

(事業者) 地域の方々がパーソナリティとなってお届けしている番組でも同様に対策を検討していきますが、本来パーソナリティの手腕でフォロー

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------

ーしていかなければならない部分も大きいと考えています。

(委員) 局名の由来などを放送内でお伝えした方がよいのではないですか？

(事業者) 局名などのお知らせについては、今後検討します。

7. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

自社ホームページに掲載 (平成30年4月4日掲載)

社名	株式会社有明ねっこむ
----	------------